

平成26年度第1回東成区区政会議各部会におけるご意見等一覧表

※ご意見や回答等については、要約しています。
※並びは、分類後に発言順・時系列となっています。

■平成26年7月31日(木)開催【保健福祉部会】

区分	項番	分類	発言者	ご意見等	回答者	部会での回答
平成25年度東成区運営方針の振り返り	1	「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業	宮田委員	有償ボランティア活動の目標を100件としている趣旨は？また、有償ボランティアを必要としている人の希望にはいろんな分野があると思いますが、供給側は有償ボランティアの活動に参加してもらえる方に、それだけの人材がいるかどうかすごく問題になってくると思います。そういう取り組みをこれからどう考えていかれるのでしょうか。	→ 中川保健福祉課長	<p>会員の確保の問題や周知の仕方等について、開催するフォーラムや区民モニター制度等も活用して、そこでの意見を踏まえながら制度を構築していきたいと考えています。</p> <p>25年度から事業がスタートいたしまして、モデル的なことで100件ぐらいの活動実績ができたということと設定をいたしました。ふれあい広場でも取り組んで頂いて、モデル的に実施はできたと考えています。それに加えて、有償ボランティアの講座等も開催し、初年度の取組実績としては目標を達成していると認識しています。</p> <p>【追加補足説明】</p> <p>・「ふれあい広場」とは、東成らしい普段のつながりの大切さを確認し、住民同士の新たな出会いやつながりづくりのきっかけとなるように開催している「東成区福祉まつり」の名称です。</p> <p>・有償ボランティアについて区民の皆さまに考えていただく機会としてフォーラムを開催します。</p> <p>日時：平成26年8月29日(金) 14時～15時半 場所：東成区民センター 大ホール</p>
	2		梅本委員	有償ボランティアですが、登録制等の仕組みというのはまだわからないのですか。昨年11月3日に福祉イベント開催し、229人が来場したとのことですが、その内容は？ 現在も、回覧板で有償ボランティアの講座開催がまわっていますが、講座を開催するなら、ボランティアのマッチングを行う区役所の部署や、地域でサポーターの人がマッチングを受け持つのかどうか。講座に行っても、次に何をしたいのか、わからなければ講座だけ受けて意味がないのではないのでしょうか。	→ 中川保健福祉課長	<p>仕組みは、現在検討中です。初年度はシステムが構築できていませんでした。昨年11月3日のふれあい広場では、ボランティア活動に参加して頂ける方々に、そこで使える金券をお配りして、活動への参加を促す取り組みを行いました。</p> <p>講座を受けて頂いた方については、今年度の取り組みにつなげていきたいと思っています。今年度中には仕組みに関しても構築していきたいと考えています。</p>
	3	区民健康づくり対策事業	五嶋委員	区民健康づくり対策事業ですが、健康寿命の延伸が掲げられています。普及啓発活動として各種健診(検診)の受診者増等、区民の健康推進にどうつながっていくかが課題で、保健師が地域に草の根的に出向くとされています。健診の受診面だけではなく、健康寿命を延伸するため、食育ということもここに加えていただきたいと思っています。	→ 西山児童・保健担当課長	<p>区民の皆様の健康づくりへの意識の中で、例えば生活習慣を見直そうとする場合、食生活の改善ということも重要な要素と考えています。そういった意識が高まっていくような取り組みをすることによって、目に見える形で行動変容が起きるように取り組んでまいりたいと思っております。生活習慣、食生活も含めて、改善することが大事だと認識しております。</p>
	4		梅本委員	区民健康づくりの53万2,000円、これは講座に補助をしているということでしょうか。	→ 西山児童・保健担当課長	<p>講座の周知用のポスターの作成経費でありますとか、講演会の講師の謝礼金の予算となっております。</p>
	5	自己評価	川上議長	自己評価シートの「1自己評価結果の総括」で、ライフライン等の協力事業者十何カ所と幅広く連携して、異変があった場合、区役所へ連絡していただく事業を開始したとなっておりますが、どれぐらい実績が出たのでしょうか。 また、連絡がつかない場合、区役所が直接動かれたのでしょうか。	→ 中川保健福祉課長	<p>25年7月から24区で先駆けてスタートいたしまして、現時点で通報実績は約6件です。特に異変があったとかいう事例ではなく、例えば病院に入院しておられたりしたケース等でしたので、特段問題はありませんでした。</p> <p>民生委員に確認したり、高齢者であれば地域包括支援センターに確認するなど、情報収集を行って、最後には確認にまいります。</p>
	6	その他	梅本委員	言葉の意味がわからない。横文字が多すぎて。大阪市全体で使用しているからと言って、複数資料を作成するなら、別刷りで東成区版を頂いた方がよい。 大阪市にも、区民がわからないようなまとめ上げ方というのはいかがなものかと東成区から言ってほしい。	→ 笹部区政総括担当課長	<p>横文字がたくさん記載されていますが、区役所が定めたわけではなくて、大阪市全体がこういう形式です。</p>
				→ 森本区長	<p>自己評価シートは、全24区で比較するため共通形式です。東成で勝手に変更することはできませんが、例えば注釈版のようなものを追加し、次回以降わかりやすく作成します。今年度の運営方針の中でも区民の皆様にご覧いただけるようにわかりやすく情報を届ける事を大きな目的にしております。</p> <p>市に区民の方のお声をお届けするのが区役所の役目です。そういうご意見がありますというのをお伝えさせていただきます。</p>	

平成26年度第1回東成区区政会議各部会におけるご意見等一覧表

※ご意見や回答等については、要約しています。
※並びは、分類後に発言順・時系列となっています。

■平成26年7月31日(木)開催【保健福祉部会】

区分	項番	分類	発言者	ご意見等	回答者	部会での回答
今年度以降の区政運営について	1	住民とともに考える健康づくり	宮田委員	26年度の健康づくり推進に関する取り組みで、講座や講演会が主になっていますが、話を聞くだけではなかなか人が集まらない。もう少し、体を動かす等イベント性を持った健康づくり等がおもしろいと思います。誰でも気軽に参加できるようなイベント型の健康づくり事業を取り入れていただけたらと思います。 また、東成区で作成した「ひがしなり手洗いキュッキュッキュの歌」がありますが、このままでは埋もれていくと思います。区役所でバンドなど組んで、講演や講座の終わりにはこれを歌うとおもしろいと思います。子どもにも覚えてもらえると思います。	西山児童・保健担当課長	伝えていくべきことはきっちり伝えていく必要がある部分もありますし、より効果的な周知方法である等、地域の皆さんのご意見もいろいろ取り入れながら、取り組みが推進ができればと思っています。
				木口副区長	健康づくり講演会ですが、講演だけではなく、関係機関のほうでその講演の始まる前後に体力測定や色々な物をつくっていただいて召し上がっていただく等、そういう企画もあわせて取り組ませて頂いています。	
	2		桂委員	住民とともに考える健康づくりの中で、講座を各会館等で開催して頂いて、いろいろ聞かせて頂き、参考になり、勉強になっています。せっかくの機会にどれだけの人来りいただけるかということに関して、住民も一緒になって、もっと広げていかなければならないと認識していますが、なかなか難しいです。どんどんといい方向に進めてほしい。	西山児童・保健担当課長	いろいろお知恵をいただきながら進めたいと思います。
	3	感染症予防対策	梅本委員	最近、あまり話題にならないけどエイズ等の感染症も、テレビ等でものすごく増えてきていると聞きました。様々な感染症予防対策は、区役所としてやるのか、大阪市全体がやるのか、いろいろあると思いますが、そうした事の記載はないのでしょうか。	西山児童・保健担当課長	例えば結核等も含めて様々な感染症対策に取り組んでいます。この運営方針では、集団感染しやすい、特にこういう取り組みをということの主なものを掲載しています。
	4	地域福祉活動サポーターを中心とした「おまもりネット事業」の推進	川上議長	(「おまもりネット事業」について)障がい者の登録が11名との事ですが、少ないような気がします。障がい者の方の登録は難しいのでしょうか。また、目標もつくられているのでしょうか。	中川保健福祉課長	確かに数としては伸びてはいませんが、障がい者の運用が開始されたことに大きな意味があると思っています。今までは高齢者を対象に取り組んでまいりましたが、昨年度からは障がい者も対象に含めさせていただきました。今後も周知を強化し増やしていきたいと思っています。目標については全体で3,000名を掲げております。ご本人さんが地域とつながりたいという思いを持っていないと難しいです。
	5		上田委員	私は11名でも多いと思っています。障がい者ご本人からの了解をもらわなければなりません。そこが難しい。		
	6		宮田委員	私達サポーターも、障がい者の方との接点がわかりません。高齢者とは全然違うものだと思います。現段階では、こうした事業を行っていますという看板を掲げて、向こうから来ていただくのを待つぐらいしかできません。	中川保健福祉課長	昨年度は、精神障がい者の当事者の方の語り部ということでワークショップも開催いたしました。ワークショップについては、今年度も引き続き、取り組みを続けていきたいと思っています。
	7		川上議長	10人、20人参加型の障がい者のワークショップを開催されていましたが、今年も開催されるのですか。		
8	地域保健・地域福祉推進支援事業	川上議長	地域生活支援システムの予算ですが63万5,000円となっています。これは会議だけなのに予算必要なのでしょうか。	中川保健福祉課長	例えば講師の先生を呼んだりとかすることも想定しておりまして、そういう報酬とかも含めて4つの部会の分を計上しております。	